



お元気ですか！ 志村 たかよし です

第710号 2014年9月21日

日本共産党中央区議団

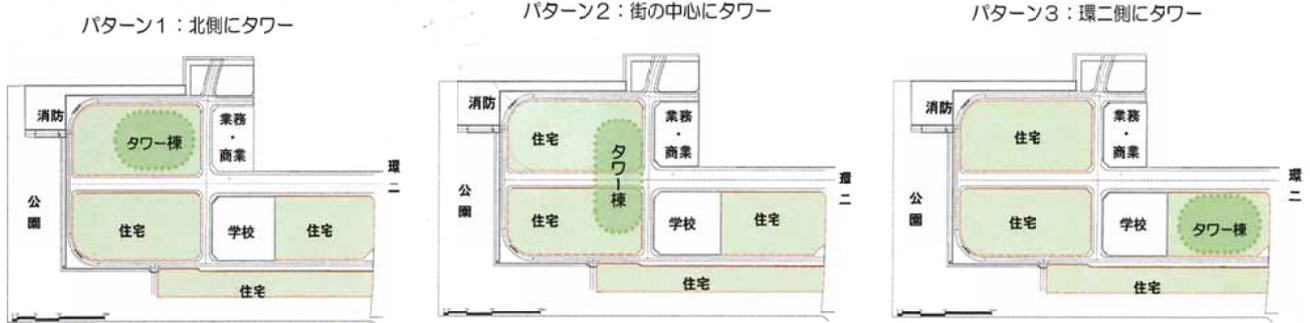
中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

都が示す「選手村の建物配置イメージ」と区が考える「晴海のまちづくり」

晴海5丁目のタワー配置パターン（イメージ図）

東京都オリンピック・パラリンピック準備局



9月11日の東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会で「選手村の建物配置イメージ（上図）」と「晴海地区の公共・公益施設に関する将来のまちづくりの考え方（裏面）」が報告されました。

開発事業者に至れり尽くせり

選手村の建物配置イメージは、上図にあるように、板状棟（14階程度）を基本としながら一部に超高層タワー棟も配置するというものです。

選手村は、都ではなく民間事業者に作らせようというのが都の考え。

防潮護岸整備や盛り土による土地のかさ上げなどの土地整備には都が税金を投入し、その土地を民間事業者が取得して選手村を作り、オリンピック終了後は、住戸として売却するなどして、1万2千人のまちを作ろうとしているのです。

タワー棟建設について吉田副区長は「土地取得から住戸販売の（投資）回収まで6年と時間がかかることや建設費高騰の中で（採算をとる）手段だと理解」と委員会で述べています。

また、売却する住戸約5000戸に

ついて吉田副区長は「5000戸を一気に売るのは不可能。デベロッパー（開発事業者）の集団と都と区の話になる」と述べました。

都民の税金で整備した土地を民間に売り、住戸を売却する時まで気配りしてもらえない開発・販売業者。まさに至れり尽くせりです。

1200人のマンモス小学校建設？

区は、晴海四、五丁目の1万2千人の人口増にもなつて小学生は1200人と推定し、その規模のマンモス小学校を計画しています。区の施設も入る複合施設の学校を作るとしていますが、整備費は何百億円にもなるとか!?

財政負担を区民にしわ寄せするな

私は「晴海の開発で区の財政負担は大きくなる。区民へのしわ寄せを生まないように」と指摘したところ、区は「この秋に区の基本計画にどのような影響が出るのか検討する」と答弁しました。大型開発のツケが区民負担にまわらないように、しっかりチェックしていきます。

